

学生便覧 2023年度
B2023-4-1

福祉総合学部

福祉総合学科

履修の手引と手続き

<小目>

I	ディプロマ・ポリシー	2
II	カリキュラム・ポリシー	2
III	授業科目について	3
IV	授業科目の単位と認定	3
V	卒業に必要な単位について	4
VI	進級条件について	4
VII	履修登録上限(CAP制)	5
VIII	各学年に履修する授業科目群および修得単位数・推奨GPAの目安	5
IX	授業科目の学年配当と履修すべき単位数	6
	1. 全学部共通基盤科目群	6
	2. キャリア形成科目群	9
	3. 専門基礎科目群	9
	4. 専門科目群	10
	5. 特設科目群	13

履修の手引

I ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

福祉総合学部福祉総合学科は、以下に掲げる能力を有し、かつ所定の単位を修得した学生に、学士（福祉総合）の学位を授与する。

福祉総合学科

- ・福祉について基本的な知識を身に付け、適切に理解して活用することができる。
- ・福祉、介護、保育の現状を理解し、現場で必要な知識・技能を活かして、主体的に課題を探究することができる。
- ・すべての人々の福祉の増進を目指し、社会人として必要な倫理性と人権意識を身に付け、多様な価値観を尊重して行動することができる。
- ・専門的な知識や技能に基づいて、論理的かつ批判的思考力及び規範的判断力を身に付け、主体的に活用することができる。
- ・国際的・地域的双方の視点から、国境や文化の境を越えて共感し行動することができる。
- ・生涯学習する意欲と能力を身に付け、持続可能な社会、孤立や排除の無い社会づくりに連携・協働しながら貢献することができる。

II カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）

福祉総合学部福祉総合学科では、教育研究上の目的に基づき、福祉・医療・保健の専門性を有する人材を養成するため、学生一人ひとりの資格修得やキャリア目標に応じたカリキュラム（教育課程）を編成する。

福祉総合学科

1. 福祉を学ぶ基礎となる文理融合型リベラルアーツとして、幅広い教養、新たなリテラシー及び総合的な洞察力を身に付けるため、全学部共通基盤科目群を設置する。
2. 国内外における地域を基盤とした実践現場での研修や実習などを通じて、キャリア形成や生涯学習に資する主体的・自律的な学びを実現するため、キャリア形成科目群を設置する。
3. 専門分野の共通基盤（学士専門力）を体系的に身に付け、より広い視野から福祉を考えるため、学科の学びの基礎となる専門基礎科目群を設置する。
4. 実践力と総合力を体系的に身に付け、専門分野を深く学ぶための基盤（学士専門力）を形成するため、各コースは以下の内容からなる専門科目群を設置する。

【社会福祉コース】

- ・福祉に関する幅広い知識と教養を身に付けるための科目を設置する。
- ・対象者理解を深め、専門的な知識・技能を習得するための科目を設置する。
- ・社会環境や多様化するニーズを理解し、人と環境を包括的に捉え、孤立や排除のない地域づくりに貢献できる力を身に付けるための科目を設置する。
- ・課題を自発的に探求し、問題解決能力を身に付けるための演習・実習に関する科目を設置する。

【子ども福祉コース】

- ・子どもの育ちを支える専門的知識・技能を身に付けるための科目を設置する。
- ・遊びを通じた発達の援助を自発的に実践する力を身に付けるための科目を設置する。
- ・子どもの教育や保育の課題を国際的・地域的視点から捉え、考える力を身に付けるための科目を設置する。
- ・子どもの教育・保育だけでなく、女性・家族が抱える福祉的課題について問題意識を持ち、ソーシャルワークを効果的に活用する力を身に付けるための科目を設置する。

【福祉マネジメントコース】

- ・社会における多様な主体との協働に対応する力を身に付けるための科目を設置する。
- ・社会を構成する人間の理解を深めるための科目を設置する。

- ・現代社会が直面する様々な社会課題を理解するための科目を設置する。
 - ・多様性に寛容な社会，SDGs を達成できる社会，皆で力を合わせて活動できる社会の構築に必要な実践的な能力を身に付けるための科目を設置する。
5. アセスメント・ポリシーに基づく学修アセスメント・プランを提示し，学位授与方針に示す能力の修得状況及び学生の成長に伴う達成度を客観的に測定，評価する。

Ⅲ 授業科目について

福祉総合学部福祉総合学科における授業科目は，全学部共通基盤科目群，キャリア形成科目群，専門基礎科目群，専門科目群から構成する。

Ⅳ 授業科目の単位と認定

本学では単位制を採用している。単位制とは，一つひとつの授業科目に一定の基準により定められた単位があり，履修した授業科目に対しては，試験もしくはその他の方法により学習評価をしたうえで，その単位を認定する制度である。

単位の認定は，S・A・B・C，4段階の評価により行い，Fの評価は単位を認定しない。なお，N・Hは，単位振替により単位を認定したことを示す。

V 卒業に必要な単位について

卒業に必要な単位は、次の表に示すとおりである。

系 列	単位数	最低修得単位数
全学部共通基盤科目群		14
キャリア形成科目群		12
専門基礎科目群		2
専門科目群		66
各科目群の最低修得単位数以外に 上記の科目群より修得		30
計		124

- (1) 全学部共通基盤科目群の内、語学科目の必修科目は、Fundamentals of English I と語学科目 1 科目である。外国人留学生は、日本語 I・II、もしくは統合日本語 I・II である。また、アカデミック・スキルズ、デジタルアプリ A・B が必修科目である。
- (2) キャリア形成科目群の内、福祉グローバル基礎研修、基礎ゼミ、ゼミナール A・B・C・D・E・F・G・H は、必修科目である。

VI 進級条件について

- (1) 全学部共通基盤科目群、キャリア形成科目群、専門基礎科目群、専門科目群の中で、指定されている科目と単位数を修得しなければ進級できない。
 - ・1 年次から 2 年次への進級にあたっては、アカデミック・スキルズ、基礎ゼミを含め 20 単位以上を修得していること。
 - ・2 年次から 3 年次への進級にあたっては、Fundamentals of English I（外国人留学生は、日本語 I、もしくは、統合日本語 I）、デジタルアプリ A・B を含め 44 単位以上を修得していること。
 - ・3 年次から 4 年次への進級にあたっては、ゼミナール A・B・C・D・E・F・G・H の内 4 科目含め 84 単位以上を修得していること。
- (2) 進級判定の対象となる科目及び進級に必要な修得単位数

1 年生から 2 年生	次の科目を含んで 20 単位 アカデミック・スキルズ…………… 1 科目 1 単位 基礎ゼミ …………… 1 科目 1 単位
2 年生から 3 年生	次の科目を含んで 44 単位 Fundamentals of English I …………… 1 科目 2 単位 (外国人留学生は、日本語 I もしくは、統合日本語 I) デジタルアプリ A …………… 1 科目 2 単位 デジタルアプリ B …………… 1 科目 2 単位
3 年生から 4 年生	次の科目を含んで 84 単位 ゼミナール A・B・C・D・E・F・G・H の内 4 科目 …………… 4 科目 4 単位

VII 履修登録上限（CAP 制）

履修登録の上限（CAP 制）は、各クォーター13 単位、サマーセッション5 単位、ウィンターセッション7 単位までとし、年間の履修登録については42 単位までとする。

ただし、累積 GPA が 2.0 を超えた場合には、年間の履修登録上限数を超えて 49 単位まで履修することを認める。

クォーター	S1	S2	サマーセッション	F1	F2	ウィンターセッション
年間履修登録上限 42 単位	13	13	5	13	13	7

VIII 各学年に履修する授業科目群および修得単位数、推奨 GPA の目安

学 年	単 位 数 の 目 安
1 年次 修得単位数 39 単位 推奨 GPA 2.0	全学部共通基盤科目群 Fundamentals of English I, 語学科目 2 科目 4 単位（必修） ※外国人留学生は、日本語 I・II もしくは、統合日本語 I・II アカデミック・スキルズ 1 科目 1 単位（必修） デジタルアプリ A 1 科目 2 単位（必修） デジタルアプリ B 1 科目 2 単位（必修） キャリア形成科目群 基礎ゼミ 1 科目 1 単位（必修） 福祉グローバル基礎研修 1 科目 1 単位（必修） 専門基礎科目群 1 科目 2 単位（選択） 専門科目群 13 科目 26 単位（選択）
2 年次 修得単位数 36 単位 推奨 GPA 2.0	全学部共通基盤科目群 3 科目 6 単位（選択） キャリア形成科目群 福祉グローバル研修 1 科目 2 単位（選択） 専門基礎科目群 1 科目 2 単位（選択） 専門科目群 13 科目 26 単位（選択）
3 年次 修得単位数 32 単位 推奨 GPA 2.0	キャリア形成科目群 ゼミナール A・B・C・D 4 科目 4 単位（必修） 専門科目群 14 科目 28 単位（選択）
4 年次 修得単位数 18 単位 推奨 GPA 2.0	キャリア形成科目群 ゼミナール E・F・G・H 4 科目 4 単位（必修） 専門科目群 7 科目 14 単位（選択）
卒 業 修得単位数 124 単位	4 年間の学業を遂行し、科目群ごとの要件を満たし、総単位数 124 単位以上を 修得し、ディプロマ・ポリシーに掲げる学士にふさわしい能力を有していると認 められること

IX 授業科目の学年配当と履修すべき単位数

1. 全学部共通基盤科目群

全学部、全学年の学生を対象として設置される科目である。各学部の専門の学びの基盤となる文理の壁を越えた幅広い教養を身に付けることを目的とする。

※単位数に○印を付してある科目は必修科目

系列	カテゴリ	授業科目	年次及び単位数				最低修得 単 位 数
			1 年	2 年	3 年	4 年	
全学部共通基盤科目群	(1) 大学での学びの基礎を固める	アカデミック・スキルズ	①				14 単位
		SDGs×大学生	1				
		Fundamentals of English I	②				
		Fundamentals of English II	2				
		Oral Fluency I	2				
		Oral Fluency II	2				
		TOEIC Preparation A	2				
		TOEIC Preparation B	2				
		TOEIC Preparation C	2				
		TOEIC Preparation D	2				
		English for Specific Purposes A	2				
		English for Specific Purposes B	2				
		English for Advanced Studies A	2				
		English for Advanced Studies B	2				
		中国語 I	2				
		中国語 II	2				
		韓国語 I	2				
		韓国語 II	2				
		スペイン語 I	2				
		スペイン語 II	2				
		ドイツ語 I	2				
		ドイツ語 II	2				
		フランス語 I	2				
		フランス語 II	2				
		ハンガリー語 I	2				
		ハンガリー語 II	2				
		ポーランド語 I	2				
		ポーランド語 II	2				
		チェコ語 I	2				
		チェコ語 II	2				
		日本語 I	2				
		日本語 II	2				
		統合日本語 I	2				
		統合日本語 II	2				
		日本語アカデミック・ライティング	2				
		日本語アカデミック・スピーキング	2				
		社会と文化の日本語 A	2				
		社会と文化の日本語 B	2				

系列	カテゴリー	授業科目	年次及び単位数				最低修得 単 位 数
			1 年	2 年	3 年	4 年	
全学部共通基盤科目群	(2) 現象世界をつかむ	データ分析の基礎(解析)	2				14 単位
		データ分析の基礎(線形代数)	2				
		自然科学概論	2				
		生物からみた環境の仕組み - 生態学	2				
		環境科学	2				
		食環境論	2				
		香りと環境	2				
		情報セキュリティ A	2				
		情報社会と情報倫理	2				
		人工知能論	2				
		データサイエンス I	2				
		データサイエンス II	2				
		統計学	2				
		身体の理解	2				
		デジタルアプリ A	②				
		デジタルアプリ B	②				
		生命現象の理解とその応用 - 生命科学	2				
		インターネット配信	2				
	(3) 現代社会の課題に挑戦する	エリアスタディーズ A	2				
		エリアスタディーズ B	2				
		観光の現在と未来	2				
		ヘルスツーリズム	2				
		社会心理学	2				
		生活と文化		2			
		生涯スポーツ概論	2				
		スポーツ社会学	2				
		ボランティア論	2				
		国際日本学	2				
		コミュニケーションの基礎	2				
		域学共創プロジェクト A	2				
		域学共創プロジェクト B	2				
		域学共創プロジェクト C	2				
		域学共創プロジェクト D	2				
		域学共創プロジェクト E	2				
		域学共創プロジェクト F	2				
		域学共創プロジェクト G	2				
		域学共創プロジェクト H	2				
		域学共創プロジェクト I	2				
		域学共創プロジェクト J	2				
	(4) 歴史をひもとく	史学概論	2				
		日本の歴史 A	2				
		日本の歴史 B	2				
		西洋史概論	2				
		アジア史概論	2				
		現代史入門	2				
		人類とモノづくり	2				
		房総の文化と歴史	2				
		科学史	2				
		映像メディア史	2				
		音楽史	2				

系列	カテゴリー	授業科目	年次及び単位数				最低修得 単 位 数
			1 年	2 年	3 年	4 年	
全学部共通基盤科目群	(5) 社会の構造的変動をとらえる	政治学入門	2				14 単位
		国際関係論		2			
		経済学入門	2				
		経済原論 A	2				
		経済原論 B	2				
		社会と経営	2				
		社会と会計	2				
		マーケティング論	2				
		広告戦略論	2				
		社会学	2				
		社会調査		2			
		法律学概論	2				
		日本国憲法	2				
		民法 A		2			
		商法		2			
		著作権	2				
		社会福祉学 A	2				
		社会福祉学 B		2			
		経営情報基礎論 A	2				
	(6) 世界を創造する	地理学 A	2				
		地理学 B	2				
		世界遺産のいま	2				
		西洋美術	2				
		美学・芸術学	2				
		表象文化研究	2				
		日本の現代文化	2				
		日本の伝統文化	2				
		日本文学概論	2				
		日本の文学(古典)		2			
		日本の文学(近・現代)		2			
		日本語表現	2				
		文学のはじまりー古代ギリシア・ローマの文学	2				
		世界の文学	2				
		演劇研究	2				
		古典芸能研究	2				
	(7) 知の知を追究する	教育学	2				
		心理学	2				
		基礎の数学	2				
		ジェンダー論	2				
		根拠への問いー哲学へのとびら	2				
		宗教学概論	2				
		倫理学概論	2				
		文化人類学	2				
		異文化適応論	2				
		比較文化概論	2				
		言語学概論	2				
	(8) の充実をはかる 心と身体	スポーツ科学 A	1				
		スポーツ科学 B	1				
		スポーツ科学(ダンス) IA	1				
		スポーツ科学(ダンス) IB	1				
		しゃべりのスキル Up I	2				

【備考】

(1) 全学部共通基盤科目群の内、語学科目の必修科目は、Fundamentals of English I と語学科目 1 科目である。外国人留学生は、日本語 I ・ II, もしくは統合日本語 I ・ II である。

(2) アカデミック・スキルズ, デジタルアプリ A・B は、必修科目である。

2. キャリア形成科目群

キャリア形成科目群は、福祉現場でのボランティア、実習や研修などを通じて、キャリア形成や生涯教育に資する主体的・自律的な学びを実現し、より深い福祉への理解と実践力、研究力を習得するために設置した科目群である。

※単位数に○印を付してある科目は必修科目

系列	授業科目	年次及び単位数				最低修得単位数
		1 年	2 年	3 年	4 年	
キャリア形成科目群	地域ボランティア研修	2				12 単位
	福祉疑似体験	2				
	ICT 活用論	2				
	福祉グローバル基礎研修	①				
	福祉グローバル研修		2			
	ライフステージ IPE A		1			
	ライフステージ IPE B		1			
	ライフステージ IPE C			1		
	ライフステージ IPE D			1		
	基礎ゼミ	①				
	地域共生演習			1		
	ゼミナール A		①			
	ゼミナール B		①			
	ゼミナール C		①			
	ゼミナール D		①			
	ゼミナール E			①		
	ゼミナール F			①		
	ゼミナール G			①		
	ゼミナール H			①		

【備考】

(1) キャリア形成科目群の内、福祉グローバル基礎研修、基礎ゼミ、ゼミナール A・B・C・D・E・F・G・H は必修科目である。

(2) 原則、ゼミナール A・B・C・D の履修は 3 年次、ゼミナール E・F・G・H は、4 年次の履修である。詳細はオリエンテーションで確認すること。

3. 専門基礎科目群

専門基礎科目群は、学科の学びの基礎となる素養を習得するために設置した科目群である。

系列	授業科目	年次及び単位数				最低修得単位数
		1 年	2 年	3 年	4 年	
専門基礎科目群	人間学	2				2 単位
	ジェンダーと福祉社会	2				
	サステイナブル社会論	2				
	まちづくり論	2				
	福祉文化・社会論	2				
	ダイバーシティ社会論		2			

4. 専門科目群

専門科目群は、専門分野における実践力・総合力を習得するために設置した科目群である。福祉について幅広く、より深く学ぶための科目であり、自らのキャリア目標に従って、適切な科目を選択すること。

専門科目群には、「社会福祉士」、「精神保健福祉士」の国家試験受験資格および「保育士」の国家資格を取得するために必要な科目が含まれている。一部の科目は国家資格取得希望者のみが履修できる科目となっているため、オリエンテーションなどで確認すること。特に国家資格・国家試験受験資格の取得については、厳正な履修条件があるので、後掲の「社会福祉士国家試験受験資格」、「精神保健福祉士国家試験受験資格」および「保育士国家資格」の説明をよく読んで、履修科目の選択に誤りがないように注意すること。また、資格の取得については、毎年度のオリエンテーションにおいて詳細な資料に基づいて説明を行なうので、その指示に従うこと。

なお、専門日本語（福祉・介護）、キャリア日本語（就職）、キャリア日本語（進学）は留学生のための科目である。

系列	授業科目	年次及び単位数				最低修得 単 位 数
		1 年	2 年	3 年	4 年	
専門科目群	ソーシャルワークの基盤と専門職 I	2				66 単位
	ソーシャルワークの基盤と専門職 II	2				
	ソーシャルワークの理論と方法 I		2			
	ソーシャルワークの理論と方法 II		2			
	ソーシャルワークの理論と方法 III		2			
	ソーシャルワークの理論と方法 IV		2			
	医学概論 I	2				
	介護の知識と技術	2				
	高齢者福祉サービス	2				
	子ども家庭福祉論	2				
	子ども家庭福祉	2				
	社会福祉原論	2				
	福祉政策	2				
	社会福祉	2				
	障がい児・者福祉サービス	2				
	司法福祉		2			
	女性福祉論	2				
	国際福祉論	2				
	貧困に対する支援論		2			
	社会保障論 I		2			
	社会保障論 II		2			
	地域福祉の理論と方法 I		2			
	地域福祉の理論と方法 II		2			
	ソーシャルワークの基礎	1				
	ソーシャルワーク演習 I		1			
	ソーシャルワーク演習 II		1			
	ソーシャルワーク演習 III				1	
	ソーシャルワーク演習 IV				1	
	ソーシャルワーク実習 I			6		
	ソーシャルワーク実習 II				2	
	ソーシャルワーク実習指導 I			1		
	ソーシャルワーク実習指導 II			1		
	ソーシャルワーク実習指導 III				1	

系列	授業科目	年次及び単位数				最低修得 単 位 数
		1 年	2 年	3 年	4 年	
専門科目群	福祉専門研究			1		66 単位
	福祉応用研究 I				1	
	福祉応用研究 II				1	
	福祉応用研究 III				1	
	福祉応用研究 IV				1	
	社会福祉経営		2			
	医療ソーシャルワーク論		2			
	権利擁護と成年後見制度		2			
	Oral English for Children A	2				
	Oral English for Children B	2				
	保育の表現理解(音楽)A		1			
	保育の表現理解(音楽)B		1			
	保育の表現理解(造形)A		1			
	保育の表現理解(造形)B		1			
	保育の表現理解(体育)A		1			
	保育の表現理解(体育)B		1			
	幼児国語			2		
	子どもの生活と社会		2			
	音楽入門 A	1				
	音楽入門 B	1				
	幼児文化論			2		
	子どもの食と栄養 A		1			
	子どもの食と栄養 B		1			
	子どもの保健		2			
	子どもの健康と安全		1			
	特別な保育ニーズの理解と支援 A		1			
	特別な保育ニーズの理解と支援 B		1			
	乳児保育		2			
	乳児保育演習		1			
	保育の心理学	2				
	子どもの理解と援助		1			
	子ども家庭支援の心理学		2			
	保育実習(保育所)I		2			
	保育実習(施設)I			2		
	保育実習(保育所)II			2		
	保育実習(施設)II			2		
	保育実習指導(保育所)I		1			
	保育実習指導(施設)I			1		
	保育実習指導(保育所)II			1		
	保育実習指導(施設)II			1		
	保育内容総論		1			
	保育内容演習(健康)		1			
	保育内容演習(人間関係)		1			
	保育内容演習(表現)			1		
	社会的養護		2			
	社会的養護演習		1			
	子ども家庭支援論			2		
	保育・教職実践演習 A				1	
	保育・教職実践演習 B				1	
	保育原理		2			
	保育者論	2				
	幼児教育原理	2				
	教育社会学	2				

系列	授業科目	年次及び単位数				最低修得 単 位 数
		1 年	2 年	3 年	4 年	
専門科目群	保育・教育課程論		2			66 単位
	保育内容指導法		2			
	幼児教育研究(遊びの援助)			2		
	幼児教育方法論			2		
	教育実習(事前及び事後指導を含む)				5	
	地域における子育て支援 A			1		
	地域における子育て支援 B			1		
	子どもの権利と福祉			2		
	子どもの発達と相談			2		
	特別支援保育			2		
	子どもの人間関係と観察			2		
	保育内容演習(環境)			1		
	保育内容演習(言葉)			1		
	保育実践と表現 A			1		
	保育実践と表現 B			1		
	子どもの生活と遊び A			1		
	子どもの生活と遊び B			1		
	精神医学 I	2				
	精神医学 II		2			
	精神保健学 I		2			
	精神保健学 II		2			
	精神保健福祉の原理 I	2				
	精神保健福祉の原理 II	2				
	心理療法論			2		
	臨床心理学		2			
	ソーシャルワークの理論と方法(専門)I		2			
	ソーシャルワークの理論と方法(専門)II		2			
	精神保健福祉制度論		2			
	精神障害リハビリテーション論		2			
	スポーツ心理学		2			
	精神保健福祉援助演習 I			1		
	精神保健福祉援助演習 II			1		
	精神保健福祉援助演習 III				1	
	精神保健福祉援助実習指導 I			1		
	精神保健福祉援助実習指導 II			1		
	精神保健福祉援助実習指導 III				1	
	精神保健福祉援助実習 I			4		
	精神保健福祉援助実習 II				3	
	ボランティア・コーディネート論			2		
	福祉専門書講読 A		1			
	福祉専門書講読 B		1			
	人間関係とコミュニケーション	2				
	チームマネジメント論		2			
	発達と老化の理解		4			
	認知症の理解 I	2				
	リスクマネジメント論		2			
	福祉ビジネス論		2			
	福祉行政論	2				
	災害福祉論			2		
	福祉運営論 A	2				
	福祉運営論 B	2				
	専門日本語(福祉・介護)		2			
	キャリア日本語(就職)			2		
	キャリア日本語(進学)			2		

5. 特設科目群

外国人留学生のための日本語科目を配置する。本科目群は、原則として指定された者のみ履修でき、修得単位は卒業単位には含まれない。

系 列	授業科目	年次および単位数				最低修得 単位数	備考
		1 年	2 年	3 年	4 年		
特 設 科 目 群	日本語（言語知識）	2					指定された外国人留学生のみ履修することができ るが、卒業単位には含まれない。
	日本語（読解・聴解）	2					
	日本語 A	2					
	日本語 B	2					
	日本語 C	2					
	日本語 D	2					
	日本語 E	2					